

一般質問

佐渡再生の鍵は



稻辺茂樹 議員



質問 佐渡市が誕生して、2年を迎えるようしているが、市の急務課題は、佐渡の地域再生計画を策定することであり、一日でも早く実行することではないか。そのためには、将来の佐渡のあるべき姿を明確に示していくことが必要であると考えるが、その大きな柱となるものは何か。

(市長) 佐渡の再生については、低迷する佐渡の産業や観光、また後継者不足をかんがみながら、循環型社会の構築に向けて環境の島「エコアイランド」の実現が一つの大きな目標である。これは美しい佐渡をつくることであり、こ

の過程で島民が、「佐渡に住んでいて良かったな」と地域に誇りを持つことである。それによりＩターンや交流人口の増加につながっていくと考

える。循環型社会とは、自然の恩恵により与えられた各種のエネルギーを我々のものにして、生活することによって排出される各種の廃棄物については、リサイクルも含めて再利用可能な形で自然に戻すという環境のことである。

佐渡市における地域再生計画については、議会でも様々なる議論があるが、それぞれの意見を真摯に受け止め「観光」「産業」「エコツーリズム」「バイオマス」それぞれが、大きな柱となりとなるような方向で検討している。

観光協会の今後



質問 観光は、佐渡経済の大きな柱である。このたび、観光協会が統合すると聞くが、佐渡市の観光行政と観光協会との相関関係及び観光協会のあり方について問う。

(市長) 観光協会については合併後、直ちに統合に向け検討を重ねてきたが、今までの観光協会のあり方が、それぞれの地域観光客の受け入れや、

地域のイベントを支えていた経緯もあり複雑であつたため、平成18年4月の統合に向けて現在協議を進めている。これからの観光協会のあり方は、佐渡観光といふばかりではなく、地域の交流人口を増やす大きな拠点として佐渡市を離れ、独立した存在が望ましく、それに向けて大幅な改革を行っているところであり、理解されたい。今後は、観光施策の立案も期待する。